

かがやき



～一人一人が輝くように～



今学期もいよいよ残り1週間余りとなりました。2学期を振り返ると、様々な行事に一生懸命取り組む中で、悩みながらも一歩ずつ成長している姿が多く見られました。滑川中学校の生徒として、学級の一員としての自覚が出てきたと思っています。また、学習面では、学習規律を守り、落ち着いた態度でどの授業にも取り組むことができている。家庭学習も少しずつ学習する時間が増えているように感じられます。生活面では、一度言われたことは、言われなくても互いに声をかけ合いながら行動することができ、「学校の手本」となっているところも見られます。しかし、相手の立場になって考えない言動が仲間を傷付けたりすることときより、見受けられました。

生徒の皆さんは、冬休みを目の前にして、クリスマスや正月など、冬休みの楽しい計画で頭がいっぱいになっているのではないのでしょうか。この時期は、気持ちの上で緊張感がなくなり、やらなければならないことを後回しにしたり、不規則な生活を送ったりするのではないかと大変心配しています。こういうときこそ日々の目標をしっかりとって、心のすきをつくらないように生活してほしいと思います。

保護者の皆さまには、ご家庭でもお子様への声かけ、目配りなど、よろしくお願いします。また、先日お知らせしましたように、17日(木)～21日(月)には、保護者懇談会を予定しております。学習成績だけでなく、今学期の成長されたところや努力が必要などころについて、話をさせていただきますので、それをもとにお子様と冬休みの過ごし方等についてお話いただきたいと思います。

新生徒会役員紹介

< 生徒会副会長 >

12月7日に生徒会引継式が行われ、11月13日の選挙で当選した新メンバーでの生徒会執行部の活動がスタートしました。

1年生全員で、生徒会活動をより活発にしていきたいと思います。



山口智生さん



佐川藍美さん

学校保健委員会でカウンセリングオフィス「ラ・ヴニール」代表の岡田浩子先生の講演「元気な脳を取り戻そう」を聞きました。

① 海馬の秘密

・学習・運動・人間関係をうまくしていくための決め手は脳の中の海馬にある。海馬は、記憶の蓄積、集中力、気持ちの安定を司る。

② 海馬によい生活

- ・朝食をしっかり取る。(たんぱく質も)
- ・睡眠をしっかり取る。
- ・体を動かす。
- ・ゲームを控える。(特に戦い物はダメ)
- ・ストレスをためない。(安心できる人に話す。ほめ言葉を使う)
- ・メディア機器の使用は、時間を決めて。(海馬に悪影響。夜10時以降はスマホ、パソコン、テレビの画面を見ないようにしましょう。)

1月行事予定

8日(金) 始業式・書初・給食開始
16日(土) 土曜授業

冬休みの課題が配布されました。
年末年始は何かと忙しい時期です。
計画的に取り組みましょう。

相川カトリーナさん（3組）が 全国中学生人権作文コンテスト富山県大会で優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

私の経験したこと

私は、フィリピン人と日本人のハーフです。6歳の頃まで、1歳年下の弟と一緒にフィリピンのおばさんやおじさん、おばあちゃんやおじいちゃんといった親戚の人たちに預けられていました。お母さんが、私たちも日本に来られるよう、頑張って働いてお金を貯めてくれたおかげで、小学校に入る前の年、日本に来られるようになりました。しかし、言葉もしゃべれず、知らない人ばかりで不安でたまりませんでした。私は、お母さんがそばにいないと行動することができませんでした。でも、お父さんがしゃべったことをお母さんがフィリピン語で通訳してくれて、どうにか日本語がしゃべれるようになりました。そして、新学期から小学校に通えるようになりました。

学校では先生方に支えられ、勉強をし、いろいろなことを教わりました。しかし、恐ろしさと恥ずかしさで誰にも話しかけることができません。どうしても友達ができませんでした。

給食の時間には、箸が上手に使えなくて、手で食べ物を支えて食べている姿をクラスの人みんなに見られ、笑いものにされ、自分ではどうすることもできませんでした。その恥ずかしさで、「早く国に帰りたい。」という気持ちで心がいっぱいでした、誰にも相談できず自分で我慢するしかありませんでした。

ある日、学校の周りを歩いていると、弟が誰かにいじめられているのを見かけました。私は、急いで助けようと弟のそばまで走っていきました。すると、それまで我慢してきたものが爆発し、大声で怒鳴り、泣き叫び、物を投げ、弟をいじめていた子供たちを追い払っていました。

フィリピンにいた時も、同じようなことがたくさんありました。裕福な子が多く通う学校にいた私は、いじめられ、誰にも相談できませんでした。髪の毛を引っ張られ、髪を結んでいたゴムを切られ、顔を机にたたきつけられました。家に帰って、気持ちが落ち着くまで部屋に閉じこもり、泣き、部屋を出るときは、家族に迷惑をかけないように笑顔をつくるそんな毎日でした。日本に来て、また同じことをされるのが怖くて、私は何もできませんでした。その後も、「フィリピン人だ」「フィリピンって貧乏な人が集まってる国だろ？」などとたくさん言われました。

私は思います。「なぜ外国人だから、みんなとは違うの？」「なぜ、貧乏だからとバカにされるの？」「なぜお母さんがそばにいないだけで、いじめられるの？」「なぜ私の家族にまで悪口を言うの？」毎日が疑問だらけでした。何かするたびにいじめられ、悪口を言われる・・・。

でも、私は、こんな私たちを支えてくれた方々に感謝することを決して忘れません。お母さんがそばにいない間私たち2人を育ててくれたおばさんやおじさん、おばあちゃんやおじいちゃん、親戚の人。日本に来た私たちを支えてくれたお父さん、お母さん、おばあちゃん、おじさん、先生方。このたくさんの人達のおかげで、今の私たちがいます。だから、この人達のためにも、日本での生活を頑張っていきたいです。

今では、下に弟が2人できて、妹がいて、お父さんとお母さんがいて、以前に比べてたくさんの友達もできました。

中学校に入り、小学校では経験しなかったこともたくさんありました。私は、吹奏楽部に入りました。わからないことがあったら、先輩が優しく教えてくれます。同級生の仲間たちと楽しく活動し、協力し合い、まるで、「吹奏楽部」という部活が1つの家族のように、私にとって、とても落ち着ける場所となりました。私は、弟たちや妹に、私のように自分がありのまま過ごせる場所を見つけてほしいなと思います。

私は、これからも、このままずっと家族や友達と一緒に毎日楽しく過ごしていきたいと思っています。

私は、いじめられている人がいたら少しでも、その人の力になりたいと思います。そして、いじている人がいたら、自分から注意することができるようになりたいです。少しでも、自分と同じ経験をするといいなと思います。

